

# 逗子市の現状と取り組み

---

～カーボンニュートラルの実現に向けて～

令和3年11月30日  
逗子市環境都市課

# 脱炭素宣言に向けて

■ 2020年10月26日

菅総理（当時）が所信表明演説において

「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言。



人口約57,000人の住宅都市であり、大企業の事業所・工場等のない  
この逗子市においても 全体目標達成のために対策を講じていく……

# 脱炭素宣言に向けて

そのためには……

市、市民、事業者が各々の立場や役割を自覚し、

一体となって

“脱炭素社会の実現” を目指していく

市、市民、事業者 各々（全員）が



① 地球温暖化の現状について理解する

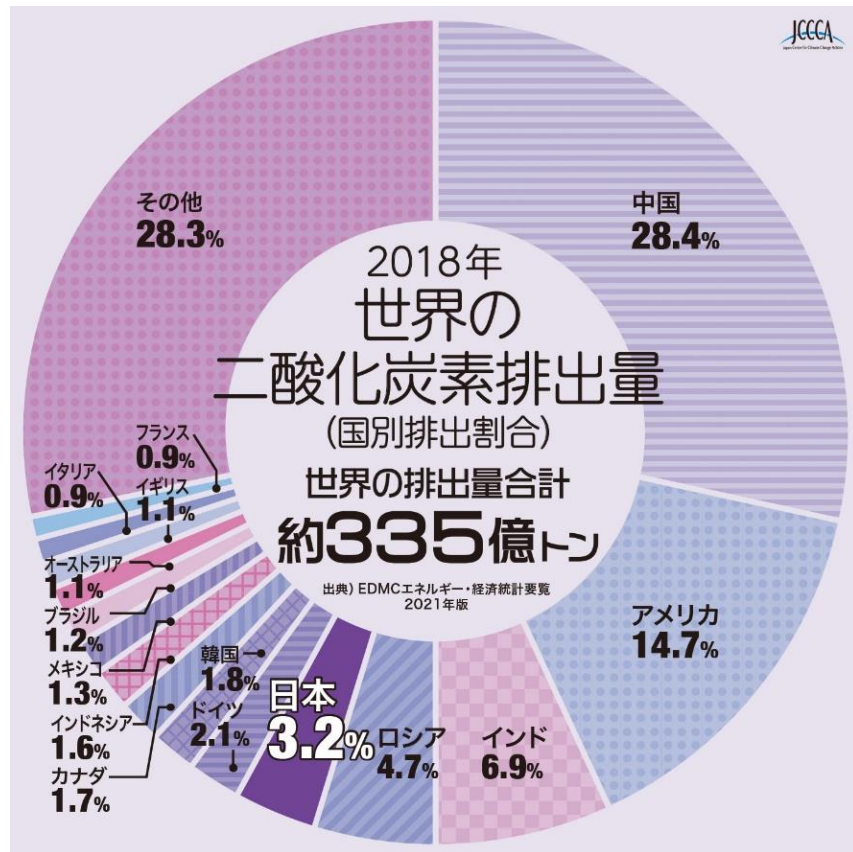
② 一人ひとりが問題意識を持つ

③ 今、何ができるか 何をすべきかを考え行動する

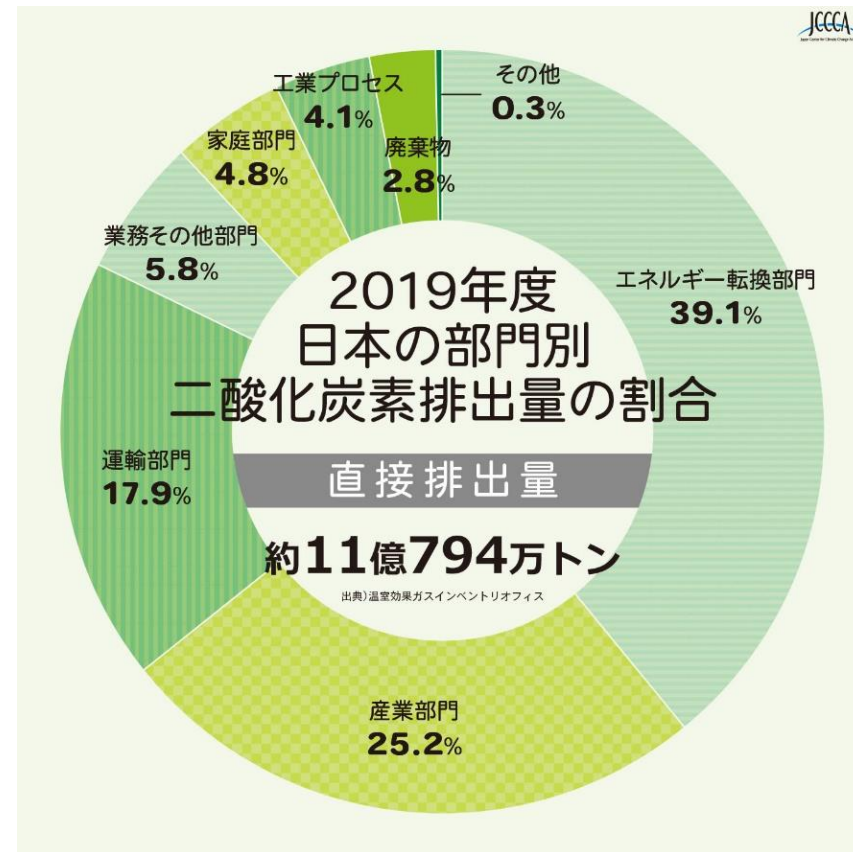
# 二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量

# 二酸化炭素 (CO2) の排出量

## ■世界の排出量 (2018年：国別)

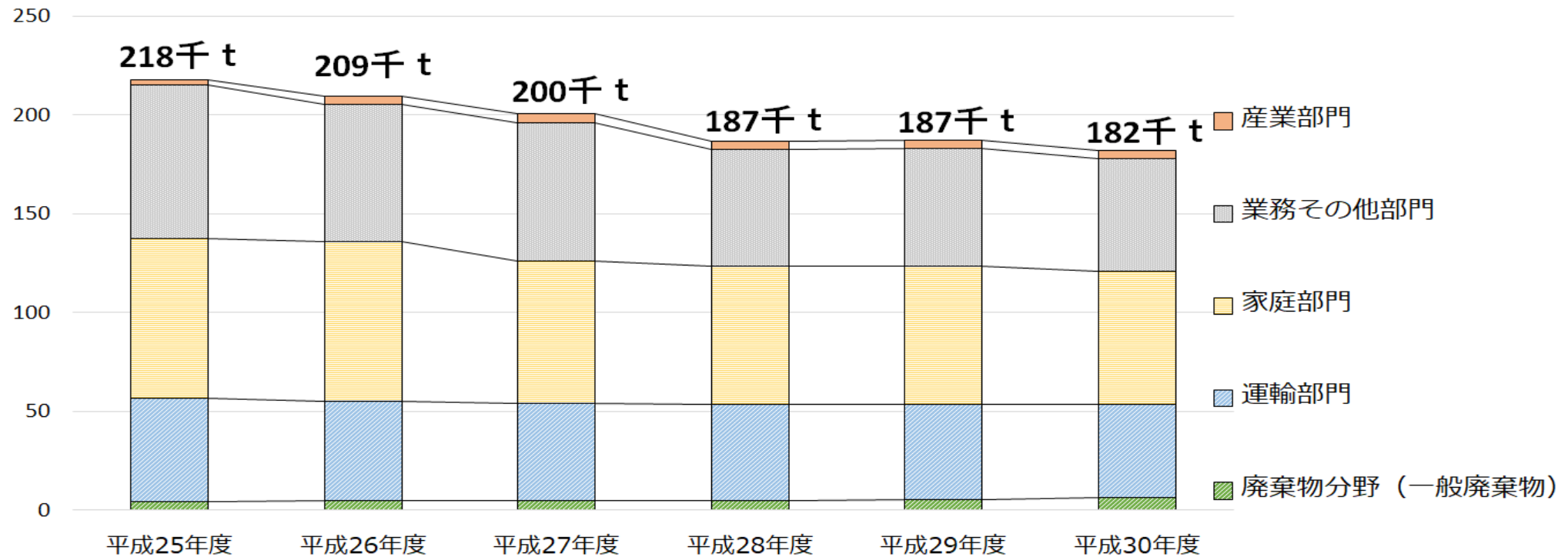


## ■日本の排出量 (2019年度：部門別)



# 二酸化炭素（CO2）の排出量推移

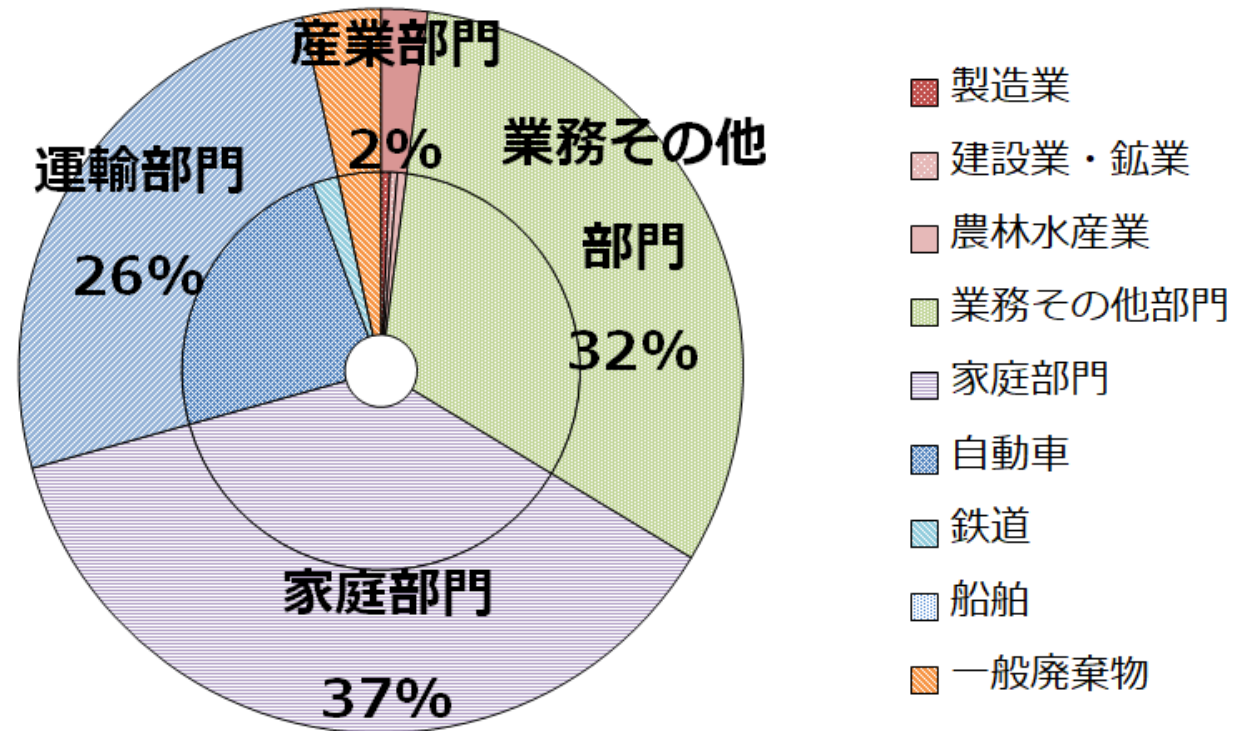
## ■ 逗子市の排出量（平成25（2013）年度～平成30（2018）年度）



# 部門別二酸化炭素（CO2）排出量

## ■逗子市の部門・分野別排出量 平成30年度（2018年度）

部門	平成30年度 排出量 (千t-CO2)	構成比
合 計	182	100%
産業部門	4	2%
製造業	1	1%
建設業・鉱業	1	1%
農林水産業	1	1%
業務その他部門	57	32%
家庭部門	67	37%
運輸部門	47	26%
自動車	43	24%
旅客	33	18%
貨物	10	6%
鉄道	4	2%
船舶	0	0%
廃棄物分野（一般廃棄物）	6	3%





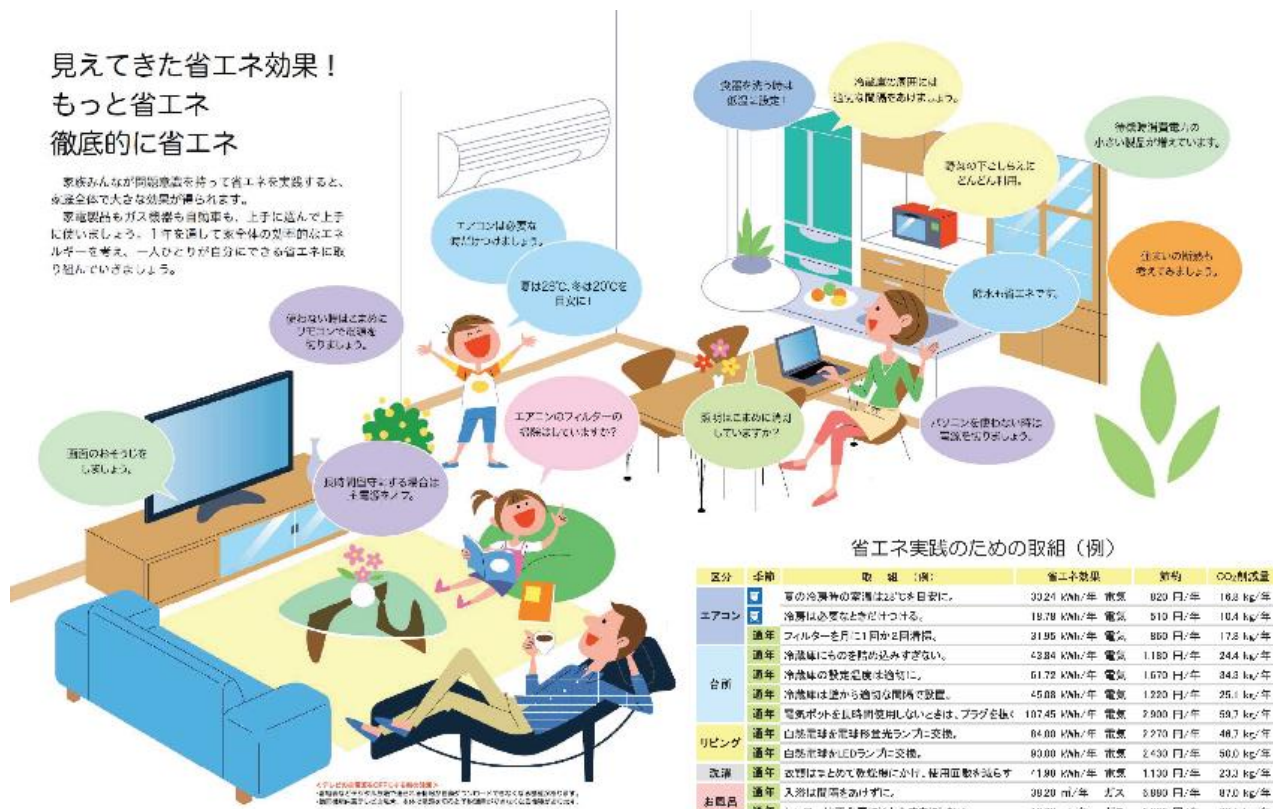
# 逗子市の取り組み

# 逗子市の取り組み①

## COOL CHOICE (クールチョイス) の推進

見えてきた省エネ効果！  
もっと省エネ  
徹底的に省エネ

家族みんなが問題意識を持って省エネを実践すると、家庭全体で大きな効果が得られます。家庭機器もガス機器も自動車も、上手に選んで上手に使いましょ。1年を通して家全体の効率的なエネルギーを考え、一人ひとりが自分でできる省エネに取り組んでいきたいと思います。



「COOL CHOICE (クールチョイス)」とは、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取り組みです。

省エネ実践のための取組 (例)

区分	手帳	取組 (例)	省エネ効果	節約	CO <sub>2</sub> 削減量
エアコン	夏	夏の冷房時の室温は26℃を目安に。	30.24 kWh/年	電気 920 円/年	16.8 kg/年
	冬	冷房は必要と急に付けない。	18.78 kWh/年	電気 510 円/年	10.4 kg/年
	濾過	フィルターを月に1回か2回清掃。	31.95 kWh/年	電気 950 円/年	17.8 kg/年
台所	通年	冷蔵庫にものを詰めすぎない。	42.84 kWh/年	電気 1180 円/年	24.4 kg/年
	通年	冷蔵庫の発熱を夜ほげで。	61.72 kWh/年	電気 1670 円/年	34.8 kg/年
	通年	冷蔵庫は遠から適切な間隔で設置。	45.08 kWh/年	電気 1230 円/年	25.1 kg/年
	通年	電卓ボタンを長時間使用しないときは、プラグを抜く。	107.45 kWh/年	電気 2,900 円/年	59.7 kg/年
リビング	通年	自然光球を電球型蛍光灯ランプへ交換。	84.00 kWh/年	電気 2,270 円/年	48.7 kg/年
	通年	自然光球をLEDランプへ交換。	93.00 kWh/年	電気 2,430 円/年	50.0 kg/年
洗済	通年	洗濯はまとめて数回に行き、洗濯正数外溢らす。	11.90 kWh/年	電気 1,130 円/年	23.2 kg/年
	通年	入浴は節湯を心がけ。	39.20 kWh/年	電気 3,890 円/年	81.0 kg/年
お風呂	通年	シャワーは必要最低限に済ませる。	12.78 kWh/年	電気 1,200 円/年	25.1 kg/年
	通年	お風呂のドアを閉めて保温。	83.57 kWh/年	燃料 13,620 円/年	194.0 kg/年
自動車	通年	加速の少ない運転。	29.29 kWh/年	燃料 4,770 円/年	68.0 kg/年
	通年	タイヤの空気圧を適切に保つ。	18.00 kWh/年	燃料 2,950 円/年	42.0 kg/年
	通年	アイドリングストップ。	17.33 kWh/年	燃料 2,820 円/年	40.2 kg/年

このページに示した数値は、逗子市環境局「省エネ実践の取組」(2017年度版)(逗子市環境局 省エネ実践の手帳)に基づいています。

逗子市では、2017年(平成29年)6月10日に、「COOL CHOICE (クールチョイス)」に賛同することを宣言しました。

# 逗子市の取り組み②

## 市民団体と連携した取り組み

### ■ 6月環境月間でのイベント（環境フェスティバルなど）

市、市民団体、事業者の取り組みの展示やワークショップ等の環境問題に関する意識啓発を実施

### ■ 市民団体主催の出前授業や自然観察会の支援

市内小中学校に、地球温暖化と省エネについての授業を実施したり、子どもたち向けに、田越川などをフィールドに、自然観察会を実施

### ■ かんきょう講演会の開催

毎年3月頃に、マイクロプラスチックや家庭でできる地球温暖化対策など、様々なテーマで環境に関する講演会を実施



# 環境フェスティバルの様子





# 自然観察会の様子





# かんきょう講演会の様子



# 逗子市の取り組み③

## 再エネ100%電力調達の推進

2050年までの脱炭素社会実現を目指し、2030年度（令和12年度）までに、原則として市内の電力を使用するすべての市所有（管理）施設において、再エネ100%の電気を調達することを目標とした「公共施設の電力調達の方針」を策定し、再エネ100%電気の切替えを推進します。

「脱・炭素宣言」に向けた第一歩として  
公共施設全体の電気使用量の約62%を占める10施設へ  
再生可能エネルギー100%の電気を導入します

●逗子市では、2050年までの脱炭素社会の実現を目指し、温室効果ガス排出量の削減のため、「公共施設の電力調達の方針」を策定し、次のとおり、公共施設における使用電力を再生可能エネルギー100%電気へ切替えます。

●対象施設及び導入期間（契約期間）

- ①環境クリーンセンター、浄水管理センター及び新宿中継ポンプ場  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
- ②逗子市立小中学校（7校）  
令和3年6月1日から令和4年5月31日まで

●年間使用電力量

約685万kWh（令和元年度実績、市施設全体の使用量の約62%）

●削減される年間CO<sub>2</sub>の量

約3,200t-CO<sub>2</sub>

●導入電気

「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー100%電気

【付属資料】

資料：公共施設の電力調達の方針

本件に関するお問い合わせ先：  
環境都市部環境都市課 青柳・坂本  
電話：046-873-1111 内線451

# まとめ（今後の課題と方向性）

**民生部門**

**約7割**

（その他業務部門・家庭部門）



省エネや環境配慮行動などのライフスタイルにおける行動の  
変革が必要。

「人ごと」ではなく、「自分ごと」として捉えることができ  
るよう行動変容を促していく。